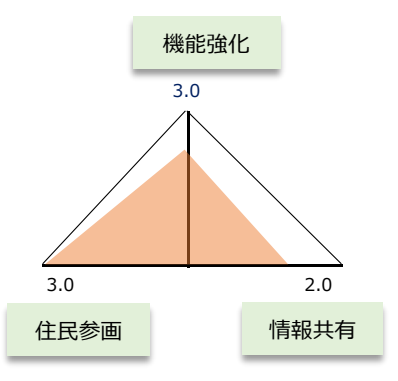
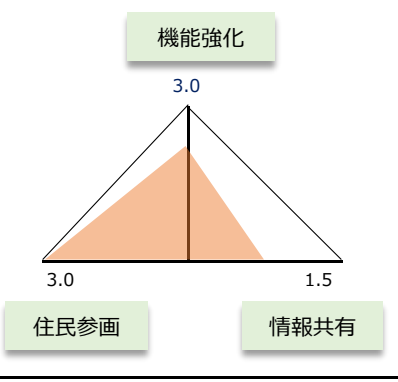
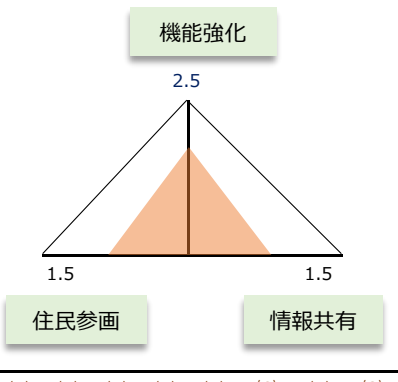


議員活動自己検証シート（公約の取組）										(対象期間：令和6年度)					会派名		三輝会		
										期数		(議員歴)		7期		(22年)			
				議員名		検証項目(10項目)						所属委員会 等		産業建設常任委員会		副委員長			
小田伸次		【検証値の捉え方】						予算決算常任委員会											
		1年間の議員活動・取組内容については……																	
		「ほぼ満足している」＝〇 1.0																	
						「さらに努力する余地があると思う」＝△ 0.5													
						「思ったような取組ができていない」＝▼ 0													
公約を検証する背景（根拠）				議会基本条例前文「市民の代表として選ばれている議員は、市民の負託にこたえる責務を負っている」/21条「この条例の目的及び趣旨の達成状況について検証を行う」															
検証の対象／分野				議会基本条例第4条 議員活動の原則／議会活動の活発化「住民参画」「情報共有」「機能強化」分野の取組について（早稲田大学マニフェスト研究所文献引用）															
検証方法				「公約」について、成果如何に捉われず、その実現に繋がる年間の議員活動・取組内容を自己検証する（本シートに記載する公約内容は自由選択：重複可）															
議会基本条例第4条（議員活動の原則）																			
① 選挙によって選ばれた市民の代表であることを自覚し、市政の課題全般について市民の思いを的確に把握し、市民全体の福祉の向上をめざすこと。【情報共有】【住民参画】 ② 議会が言論の場であること、及び合議制機関であることを認識し、議員相互間の自由な討議を重んじること。【機能強化】 ③ 日常の調査及び研修活動を通じて自らの資質の向上に努めること。【機能強化】 ④ 地方自治の本旨にのっとり、政策、条例、意見書等の議案を提出する努力をすること。【機能強化】 ⑤ 市政の課題に関する論点を市民に明らかにするため、一般質問を一問一答方式により行うこと。【機能強化】【情報共有】																			
(公約1) 地元経済の活性化												検証		1年間の主な活動・取組内容、または、取り組みなかった事項と理由 等					
地元企業の支援策強化や企業創業支援・地元産業の充実																			
				住民参画 3point		(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）						○		商工会議所や商工会、また事業者との意見交換を行う中で、コロナ明けの経済活動に対する問題点を出来るだけ把握し、省庁に出かけて行って学んだ国の支援策などを参考にし、本市の取り組みむべきと思われる政策や改善に向けて意見をした。各種イベント等には積極的に参加して、現況を感じている。					
						(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援						○							
						(3) 住民自治組織活動や地域活動など、まちづくりへの参加・実践						○							
						(4) 現場調査・現状確認、聞き取り、先進事例等の調査研究活動						○							
				情報共有 3point		(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動						○		日頃より感じていることや、先進地視察などで学んだことをベースにしなが、現状をできるだけ把握するとともに本市の未来像と今あるべき姿を模索している。時に、担当部署との意見交換も行っている。					
						(6) 地域等における報告会の開催やSNS、チラシ・広報誌等による情報発信						▼							
						(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案						○							
						(8) 議員間討論への積極的な参加、会派内での情報共有の徹底						○							
				機能強化 4point		(9) 各種計画書の分析、条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討						△		上記のとおり、将来の三次市や今の本市に必要であろうと思える政策や改善策をあらゆる発言の場で意見している。ただ単に、情報過多にならないように、本市の置かれている財政状況や現状の市民感覚などには気を配りながらの発言としているつもりである。委員会では国に対しての意見書をまとめて提出することができた。					
						(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加						△							
(1) 1.0 (2) 1.0 (3) 1.0 (4) 1.0 (5) 1.0 (6) 0.0 (7) 1.0 (8) 1.0 (9) 0.5 (10) 0.5												値合計		8.0					
(公約2) 中核都市機能の充実												検証		1年間の主な活動・取組内容、または、取り組みなかった事項と理由 等					
住民自治組織の機能強化と教育環境の充実																			
				住民参画		(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）						○		地域住民組織の会合や事業に参画するとともに、積極的に事業提案や運営に尽力をした。日々の生活においても、市民要望や困りごとへに対応を行った。ただ、個人広報誌を作成しての配布や、個人的な市政報告会の開催ができていないため、より多くの市民の声を拾うことができていない。					
						(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援						○							
						(3) 住民自治組織活動や地域活動など、まちづくりへの参加・実践						○							
						(4) 現場調査・現状確認、聞き取り、先進事例等の調査研究活動						△							
				情報共有		(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動						○		議会報告会や日頃より交流している市民の方の意見を参考に問題点を把握し、省庁などでの勉強会で課題の提起、委員会や本会議での発言に努めた。地域間の格差（認識や思い）を感じる自治組織活動であると感じられるので、解決策があるのかをもっと調査研究しなければならないと感じている。					
						(6) 地域等における報告会の開催やSNS、チラシ・広報誌等による情報発信						▼							
						(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案						○							
						(8) 議員間討論への積極的な参加、会派内での情報共有の徹底						○							
				機能強化		(9) 各種計画書の分析、条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討						△		取組の中で、行政と住民との間に感覚の差がある。その理由は、一般質問や委員会での指摘等を行って、帰ってくる答弁を見ればそう感じてしまう。議員としての限界なのかとも思ってしまう。議会機能をもっと強め、政策にもっと踏み込むようにしなければならないと感じている。また、市街地においてはツナガリ（常会・自治会・子ども会加入）を持たない人口が増えていて、どうすれば住民同士のツナガリが持てるのかが大きな問題になっている。					
						(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加						△							
(1) 1.0 (2) 1.0 (3) 1.0 (4) 0.5 (5) 1.0 (6) 0.0 (7) 1.0 (8) 1.0 (9) 0.5 (10) 0.5												値合計		7.5					
(公約3) 子どもたちの教育向上												検証		1年間の主な活動・取組内容、または、取り組みなかった事項と理由 等					
				住民参画		(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）						△		教育問題を主に置いた意見交換は特に行っていない。ただ、事あるごとに保護者などからの意見は伺っている。					
						(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援						△							
						(3) 住民自治組織活動や地域活動など、まちづくりへの参加・実践						△							
						(4) 現場調査・現状確認、聞き取り、先進事例等の調査研究活動						○							
				情報共有		(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動						△		本市にはない最高学府（大学）との連携ができないかと、会派で山梨学院大学にスポーツ部門でのつながりを求めて意見交換をしに向いた。そのような活動の下で、本市における義務教育のあり方について、学校統廃合問題も含め教育委員会と話をした。ただ、詰め切れていないように思う。					
						(6) 地域等における報告会の開催やSNS、チラシ・広報誌等による情報発信						▼							
						(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案						○							
						(8) 議員間討論への積極的な参加、会派内での情報共有の徹底						○							
				機能強化		(9) 各種計画書の分析、条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討						△		上記のように、会派研修等において得られた情報をもとに意見を述べたり、提言につなげている。財源問題、地域感情、市民感情等々、円満な落としどころを探すのは容易ではないが、将来の子どもたちの教育環境向上のためにどうすればいいのか、今後も重要課題と認識して取り組んで行く。					
						(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加						▼							
(1) 0.5 (2) 0.5 (3) 0.5 (4) 1.0 (5) 0.5 (6) 0.0 (7) 1.0 (8) 1.0 (9) 0.5 (10) 0.0												値合計		5.5					
公約に係る年間の議員活動・取組状況の検証と次年度の目標設定や課題の選出																			
地元経済の活性化												活動の一コマ		課題の抽出・次年度の目標設定		コロナ問題から産業界や世の中の購買行動が変わってきているのに地方の零細・中小企業はうまく対応できていないように思える。どのような支援策が有効なのかをより深く勉強する必要がある。 自治組織活動では、かかわりを持たない人が増えてきているのにどう対処するべきか、行政・議会・住民が真剣に考える時である。どのようなアドバイスするのが良いのか研究し、知恵を絞らなければならない。 少子高齢化が進む中で今後の学校のあり方について変化が求められる現況であると認識。本市においても、学問・芸術文化・スポーツなど、様々な子どもたちの夢が求められる環境を創っていくかなければならない。			
地元企業の支援策強化や企業創業支援・地元産業の充実												産業建設常任委員会での行政視察							
												8.0							
中核都市機能の充実																			
住民自治組織の機能強化と教育環境の充実																			
												7.5							
子どもたちの教育向上																			
未来を担う子どもたちの教育環境の充実・スポーツの街の推進																			
												5.5							
無断複製・転用はご遠慮ください。																			
三次市議会 議会運営委員会																			